

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ● 京丹波

京丹波

No.53

2010年
3月15日発行

手の中のぬくもり
生命の大切さを感じて

特集 京丹波町の桜



春の陽気に誘われて

桜名所めぐり

日増しに暖かさを増す中、もうすぐ桜の季節を迎えます。町内の主な桜名所を紹介しますので、春の訪れを感じながら、町内をぶらりと桜見物に出かけてみてはいかがでしょうか。

特集

桜 京丹波町の

彩り鮮やかに咲き誇り、春の訪れを告げる「桜」。今回は、町内の主な桜名所をお知らせするとともに、桜を生かした地域づくりについて特集します。

ウッディパルわち 下粟野
国道27号から仏主方面に向かうと、和知川沿いにシダレ桜など約20本の桜並木が見られます。

和知中学校周辺 市場
国道27号から同校への校門に続く坂道で桜並木が見られます。

JR安栖里駅 安栖里
国道27号沿いにあるJR安栖里駅ホームで約40mにわたる桜並木が見られます。

四季の里 質美
旧質美保育所付近で桜のライトアップ(時期未定)が行われ、夜桜見物が楽しめます。

無動寺 粟野
周囲の風景と調和した美しいシダレ桜が見られます。

須知高校周辺 豊田
国道9号沿いを走行すると、同校周辺に植えられた桜並木が見られます。

曾根の桜 曾根
国道9号から府道444号に入り、曾根方面に向かうと、雄大に咲き誇る1本の美しい桜が見られます。

丹波自然運動公園 曾根
園内に四季折々の散歩道があり、桜並木の中でウォーキングが楽しめる「桜の道」があります。

グリーンランドみずほ 大朴
国道173号から園内に入って散策すると、グラウンド周辺などに美しい桜並木が見られます。

ウッディパルわち



今月の表紙

2月17日、三ノ宮小学校で行われた「動物愛護教室」。児童たちは白衣に身を包み、聴診器を使ってうさぎの心臓音を聴いた後、うさぎをやさしく抱きしめ、生命のあたたかさや尊さを感じていました。(関連記事を10ページに掲載)

京丹波 No.53 CONTENTS

- 2 **特集** 京丹波町の桜
- 6 新たな地域特産品「京かんざし」
- 8 京丹波町の組織を一部改編します
- 9 Dr's Message いきいき健康術
- 10 **フラッシュ** TOWN NEWS 2010
生命の尊さを学ぶ機会
—動物愛護教室
寒さに負けず力走
—南丹・船井中学校ロードレース大会
地域文化の祭典
—南丹地域文化フォーラム
地域スポーツの振興に貢献
—京丹波町スポーツ賞授与式
- 12 **【まちの元気人】**山口 努さん

曾根の桜

春を彩る桜の名所を目指して

桜街道を作る会

豊かな自然に恵まれた地域の利点を生かして、春の風物詩である桜を生かした地域づくりに取り組む「わち桜街道を作る会」。桜の植樹や管理など、集落や世代を越えた取り組みが展開されています。

始まりは 何気ない会話から

回会が発足したのは平成十五年十二月。「和知から大野ダム(美山町)まで桜街道でつながったらきれいやろな」との何気ない会話から、現在も会長を務めている野口進さん(升谷)が知り合いに呼びかけて取り組みが始まりました。

「大野ダム周辺の桜はとても美しく、観光スポットとして定着していましたが、和知地域には桜並木で有名な場所がなく春の風景に物足りなさを感じて

いました。そのようなことから、『春には和知地域を桜でいっぱいしよう』との意気込みで回会を設立しました」と野口さん。設立当初は「わち桜(花)街道を作る会」として約十人の役員が中心となり、桜だけでなく、さまざまな花を咲かせて町民や訪れる人々の心を和ませたいとの目的のもと、旧和知第二小学校区内(中山、升谷、市場、大倉、篠原、大迫、長瀬、塩谷、上乙見、下乙見)を活動範囲として取り組みを展開されてきました。

「地域の将来について考えると、高齢化や活性化対策などの大きな課題があり、これらの課題解決を行政だけに

い」と山口さん。現在、会員は約二百人となり、高齢者から若者まで幅広い世代の方が活動に参加され、交流が図られています。

地域の将来を考える それがまちづくりの原点

「多くの人に支えられながら取り組みが続けられています。将来は、春に満開の桜が咲き乱れ、桜の名所として多くの人に見に来ていただき、地域が活性化することを期待しています」と話すのは山口さんと共に設立当初から回会の運営に携わっている山本多喜雄さん(篠原)。取り組み開始から約六年が経過し、植樹された桜は年々成長を重ねています。

「今後は、わたしたちの取り組みが町内全域に広がり、京丹波町全体で桜街道づくりができたらしうれしいですね」と野口さん。何気ない会話から始まった活動が、多くの人の手によって実現し、やがては鮮やかに春の風景を彩り、訪れる人々を楽しませることで、地域の活力となって発展していく。将来の地域の姿を思い描き、長い年月をかけて桜の成長を見守り続ける回会の活動は、一朝一夕では成しえないまちづくりの原点ではないでしょうか。

求めるのではなく、自分たちでも取り組むために、同校区内のみならず参加を呼びかけました」と野口さん。回会では集落ごとに役員を配置し、役員が主体となって、植樹する場所の検討や事前調査、桜の植え付け作業などを集落単位で実施。上升谷橋付近での植樹を皮切りに、平成十五年に約二百三十本、十六年度に約九十本、十七年度に約八十本、十八年度以降も年々植え付け作業を行い、これまでに約五百本の桜を植樹しました。

将来につながる 活動を目指して

「植樹の目的は一定つきましましたが、桜の最盛期は何十年も先のことになりま

す。桜が育つまでの間、いかにして大切に守っていくかが今後の課題です」と話すのは、設立当初から回会の運営に携わっている山口重男さん(長瀬)。桜や周辺の管理だけでなく、シカなどが植えた苗を食べる被害が発生しているため、補植や防護網の設置など、集落ごとに対策を講じられています。

また、「将来に何かを残したいの思



山本 多喜雄さん
— Yamamoto Takio —



山口 重男さん
— Yamaguchi Shigeo —



野口 進さん
— Noguchi Susumu —



桜街道の看板(大倉)



新たな地域特産品

京野菜の新品目の一つとして、京都府が試験研究に取り組んできた「京かんざし」(金時にんじん)。新たな地域特産品を目指した取り組みが、町内で広がっています。

京かんざし

「京かんざし」のブランド化を目指して

一般的に京野菜は京都府内で生産された野菜の総称として使われており、品目などに定めはありません。しかし、京野菜や果物の中でも、府内で古くから品種の育成が行われ、品質的・量的に特に優れたものを「ブランド京野菜」として京都府が認定し、生産量拡大に向けた取り組みなどが展開されています。

ブランド京野菜は、町の特産品である丹波クリや黒大豆、紫ずきん、みず菜などを含めて二十一品目あり、近年では金時にんじんを早採りした「京かんざし」のブランド化を目指した取り組みが、町内で積極的に行われてい

「京かんざし」の特徴

京かんざしが開発されたのは、京都府農業技術センターが金時にんじんの早採りに着目したことがきっかけ。京野菜の新品目が求められる中、同センターでは平成十七年度から栽培方法や商品形態などの試験研究を行い、ハウスを利用した周年栽培(六一三月にかけて)を可能とし、軽量で扱い

やすく簡便に調理できることなどから、平成二十年度に本町で試験栽培が始まりました。

京かんざしの特徴は、金時にんじんの収穫が播種後百二十日に対し、四十五〜八十日と短期間で収穫できることや、重さが十五〜二十グラムと通常の約十分の一で扱いやすいこと、そして葉も食べられることなどが挙げられます。特に、葉には老化抑制や生活習慣病予防に効果がある抗酸化物質が豊富に含まれていることから、食材として高い評価を得ています。

研究会を中心に

栽培管理などを実施

開始当初は、府農業改良普及センターの指導のもと、生産者三人(戸)が現地の適応性を調べるための試験栽培を行うとともに、アンケートによる市場調査や出荷・販売方法などを検討しながら取り組みを展開。約一年が経過し、試験栽培のデータが一定確認できたところで、平成二十一年五月には新たに生産者七人が取り組みを開始し、新たな地域特産品を目指して「京かんざし研究会」を設立しました。現在は生産者十四人(丹波地区三人、瑞穂地区七

インタビュー

京かんざし研究会

しろさき まさつぐ
会長 城崎 正継さん
(妙楽寺)

京都府から試験栽培の話を受けたときは、初めての取り組みに対する魅力とやりがいを感じました。

研究段階のため、植え付けや収穫の時期、トラクターで耕す深さ、水の量など、それぞれの会員が試行錯誤し、定期巡回でデータを集



めて改良を重ねています。また、京かんざしの生産量増加を目指して、地域のみなさんに取り組みへの参加を呼びかけていますので、利用していないハウスの有効活用などとして考えていただきたいと思います。

「京丹波町の特産品をつくりたい」との夢を持つて取り組んでいますので、将来、「苦労したけど、やってきてよかったな」と笑って話せるように、今後もがんばっていきます。

京かんざしを使った

「料理研修会」

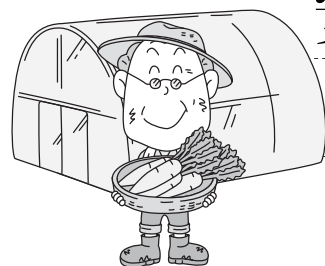
京かんざしを地域特産品として定着するために大切なのが、食材としての利用方法やPR。昨年十二月十八日には京野菜マイスターの平田宗子さんを招いた「京かんざし研修会」が実施され、同会会員ら約三十人が参加しました。

研修会では、平田さんの提案を受けて、食材本来の味を生かしたスティックサラダやソテー、かき揚げなどの料理をはじめ、甘納豆やクッキーなどを調理。参加者らは、完成した料理を味わいながら京かんざしの活用方法について意見を交わしました。



京かんざしを使った料理を研究する参加者

地域特産品としての安定した出荷を目指して



京かんざしは現在、京丹波町内のみで栽培しています。京かんざしをブランド化し、京丹波町の新たな地域特産品として定着させるためには、生産者を増やし、市場へ安定した出荷を行う必要があります。

京かんざしの栽培に興味があり、周年栽培を行うための「ハウス」を所有している方は、次までご連絡ください。

【問い合わせ先】

産業振興課 ☎ 82-3808

人、和知地区四人)となり、周年栽培による市場への継続的な出荷を行うために、計画数量を定めて取り組みを展開されています。

また、現在の栽培(ハウス)面積は約四十アールで、毎週二〜三日のペースで市場へ出荷。毎週火曜日には同センターや町、同研究会員らによる定期巡回を実施し、生産農家だけではなく関係者全体で管理や指導などを行っています。



定期巡回で发育状態などを確認する関係者

京丹波町の組織を一部改編します

住民に身近な町政の展開や重要施策の実現に向けて、4月1日に町の組織を一部改編します。今回の改編では、住民自治に基づく地域づくりなどを支援する「地域支援室」の新設をはじめ、関係部署の連携強化など、『安心』『活力』『愛』のあるまちづくりを推進するための体制づくりを基本としています。



いきいき健康術 第31回

Dr's Message

『歯磨き剤の使い方について』

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は和知歯科診療所の歯科衛生士片山昭子さん。歯磨き剤の選び方や効果的な使い方についてのお話です。

歯磨きをするときは、歯ブラシに歯磨き剤をつけて磨かれると思いますが、歯ブラシの使い方によって、歯磨き剤の使い方もコツがあります。

歯磨き剤の効用

歯磨き剤には、歯垢を落としやすくするとともに、再付着しにくくする働きや、着色汚れを落とす歯本来の色を保つ働きがあります。

また、「医薬部外品」と表示されているものには、薬用成分が配合されているため、虫歯や歯周病の予防、知覚過敏症状の緩和が期待できます。中でも、フッ素は、むし歯予防効果がとても高いと認められている薬用成分で、現在市販されている歯磨き剤の約9割に配合されています。そのため、歯磨き剤を選ばれるときは、フッ素入りをおすすめします。

入れ歯と歯磨き剤の関係

歯磨き剤には研磨剤が含まれているため、歯磨き剤をつけて入れ歯を磨くと入れ歯が傷ついたり、すり減ったりして、変形の恐れがありますので、適切な清掃方法を医師に相談してください。

総合的な医療政策を推進する「医療政策課」の設置

現在の地域医療課を「医療政策課」に名称変更し、設置場所(事務所)を町内の医療機関の核である京丹波町病院に移します。

企画や政策形成を重視した「企画政策課」の設置

現在の企画情報課を「企画政策課」に名称変更するとともに、住民課に人権推進係を設け、総合的な住民相談窓口として機能するよう、次のとおり係を改めます。

企画政策課

- 新たに「地域支援室」を設け、「地域支援係」を設置。
- 「人権政策係」の所管を住民課に変更。

住民課

- 人権政策係を「人権推進係」に名称変更し設置。

農業委員会事務局に専任職員を配置

現在は農業委員会事務局職員を兼務で配置していますが、改正農地法による業務量の増加などの実情に合わせて、専任職員を配置します。

教育委員会に「教育振興室」を設置

専門的な観点で教育行政を推進するため、学校教育課内に新たに「教育振興室」を設置し、学校教育指導主事を配置します。また、現在は課長補佐級である「学校教育課長」と「社会教育課長」を、それぞれ管理職(課長級)とし、小学校統合や耐震化事業、国民文化祭の開催などの重要業務を執行する体制にします。

効果的な歯磨きの方法

フッ素などの薬用成分入りのものを使っても、量が少なすぎたり、うがいは何回もしたりすると効果は半減します。効果的な歯磨きの方法は次のとおりですので、ぜひ実践してください。



歯科衛生士 片山 昭子さん(和知歯科診療所)

- ①歯磨き剤を歯ブラシに一センチ程度つける。(六歳未満は五ミリ)
- ②歯磨き剤を歯全体に塗り広げる。
- ③三分以上かけて歯みがきをする。
- ④少量の水で一回だけグチュグチュうがいをすする。
- ⑤歯磨き後二時間は飲食しない。

歯磨き剤を上手に使い、ていねいな歯磨きに心がけ、健康な歯とさわやかな口元を保ちましょう。

生命の尊さを学ぶ機会 動物愛護教室

平成二十一年度動物愛護教室(京都府主催)が二月十七日、三ノ宮小学校で行われ、同校の二・三年生八人が参加しました。

同教室は、犬などの身近な動物の習性や行動などを知ることに、動物愛護意識を育むとともに、適正な飼育方法の学習および危害を未然に防ぐことを目的に実施。児童は、人と犬が関わってきた歴史や犬の習性・能力などについて府職員から説明を受けた後、保健所で飼育されている犬とふれあひながら接し方などを学びました。また、聴診器を使ってうさぎの心臓音の聴き取り体験などを行い、生命の尊さを感じ取っていました。



聴診器を使ってうさぎの心臓音を聞く児童たち
(三ノ宮小学校・三ノ宮)

寒さに負けず力走 南丹・船井中学校ロードレース大会

第五回南丹・船井中学校ロードレース大会(南丹・船井中学校体育連盟主催)が一月三十日、丹波自然運動公園陸上競技場を発着点として行われ、本町(蒲生野、瑞穂、和知)と南丹市(八木、園部、園部附属、殿田、美山)の中学一・二年生二百七十七人が参加しました。

同大会は、基礎体力と持久力の向上をはじめ、本町と南丹市内にある中学校に通う生徒たちの交流を深めることを目的に実施。競技は、男子が三キロ、女子が一・五キロのコースで学年別に行われ、肌寒い気候の中、選手たちはスタートの号砲で一斉に駆け出し、見守る教師や生徒らからの声援を受けながら力走しました。



スタートの号砲で一斉に駆け出す選手たち
(丹波自然運動公園・曾根)

地域文化の祭典 南丹地域文化フォーラム

一月三十日、南丹文化ジョイントプログラムの一環として「次世代へつなぐ南丹地域文化フォーラム」が南丹市国際交流会館で開催され、本町から和知小学校人形浄瑠璃クラブが出演しました。

同フォーラムは、南丹地域の伝統芸能などに携わる子どもたちが発表する場として行われ、亀岡市は三輪山の子どもたちによる亀岡祭曳山囃子の演奏、南丹市は園部高校附属中学校吟詠剣詩舞部による詩吟と剣舞、そして本町からは同クラブの児童が「傾城阿波の鳴門」巡礼歌の段」を上演し、多くの観客を楽しませました。

また、この日は、「南丹美術工芸教育展」も開催され、管内(亀岡・南丹市、京丹波町)の保育所の園児や小・中学生、高校生らによる作品の展示や表彰式などが行われました。

(敬称略)

立体作品の部

【京都新聞社賞】
洲上愛輝(松山小・四年)
山口奈瑠美(和知中・三年)



和知人形浄瑠璃を上演する和知小の児童(国際交流会館・南丹市園部町)

地域スポーツの振興に 京丹波町スポーツ賞授与式

平成二十一年京丹波町スポーツ賞授与式が二月二十四日、山村開発センターみずほで開催され、受賞者ら約九十人が出席しました。

この賞は、長年にわたり地域のスポーツ振興に貢献された人や、各種スポーツ大会で優秀な成績を収められた個人・団体などが対象。今回は、各スポーツ団体や学校、区から二十五人・八団体の候補者が推薦され、選考の結果、二十三人・三団体が受賞しました。

受賞者は次のみなさん。(敬称略、主な功績のみ)

【特別栄誉賞】

▼大石康正(院内)

世界サブジュニアパワーリフティング大会(男子六十キロ級)・二位
世界サブジュニアパワーリフティング大会(女子六十キロ級)・四位

▼奥戸知香(西河内)
世界サブジュニアパワーリフティング大会(男子六十キロ級)・二位
世界サブジュニアパワーリフティング大会(女子六十キロ級)・四位

▼片山健大(角)
アジアカヌースプリント大学選手権大会(男子カヤックフォア、五百・二百メートル)・優勝

▼山内理恵子(橋爪)
ホッケーU18日本代表選手、U18女子アジアカップ二位

▼谷口捺美(蒲生)
ホッケーU16日本代表選手、FHE・CUP(女子)二位

【功労賞】

▼中野昭(豊田)

体育協会・スポーツ少年団の組織育成
▼田端耕喜(蒲生)、田端敏子(蒲生)、竹内健(豊田)

▼乾友梨子(大倉)
国民体育大会(女子カヌーカヤックシングル四百五十メートル)・七位
全国高等学校総合体育大会(女子カヤックフォア、二百メートル)・五位

▼和田絵美(坂原)
全国高等学校総合体育大会(女子カヤックフォア、二百メートル)・五位

▼十倉里帆(稲次)
JOCジュニアオリンピック杯全国中学生カヌー大会(女子カヤックシングル)・二位

▼藤井希帆(升谷)
B&G杯全国少年少女カヌー大会(女子カヤックペア)・二位、同(カヤックシングル)・優勝

▼堀真由香(本庄)
B&G杯全国少年少女カヌー大会(女子カヤックペア)・二位

▼西愛奈(升谷)、足立夏実(大倉)

▼片山芽久(本庄)、梅原佐公(大倉)

B&G杯全国少年少女カヌー大会(女子カヤックペア)・三位

▼金子のぞみ(篠原)、津田麻衣(本庄)

B&G杯全国少年少女カヌー大会(女子カヤックペア)・五位

▼岩崎雄太(蒲生)
京都府少年少女柔道チャンピオン大会(五年男子の部、四十五キロ以下級)・準優勝

▼須知高等学校
女子ホッケー部
近畿高等学校ホッケー選手権大会・準優勝

▼町ゲートボール女子チーム
京都府民総合体育大会ゲートボール競技(女子の部)・優勝

▼ゴンターズ高原スポーツ少年団
全京都少年軟式野球選手権大会・準優勝、京都府知事杯争奪少年野球選手権大会・優勝



スポーツ賞を受賞したみなさん(山村開発センターみずほ・大朴)

わたしたちの町	
人口	16,901(-15)
男	8,002(-3)
女	8,899(-12)
世帯数	6,484(-5)
3月1日現在/()は前月比	

まちの
元気人

平成二十一年度文化庁長官表彰を受賞

山口

やまぐちこうじ

努さん(70歳)

市場

宮大工としての経験を生かして、
京丹波町の文化財を守っていききたい。

「夢にも思っていませんでしたので、受賞の報告を受けたときは驚きました。身に余る光栄で本当にうれしく思います」と話すのは、昨秋に平成二十一年度文化庁長官表彰を受賞した山口努さん。

山口さんは、昭和五十年一月から平成十七年三月まで文化財の修復作業を行う宮大工として京都府教育委員会に在籍し、清水寺をはじめ、大徳寺や知恩院、南禅寺、仁和寺、妙心寺など、数々の国宝・重要文化財に関わる建造物の解体修理に携わり、文化財の保存活動に尽力。退職後は、和知町文化財を守る会会員として、文化財の保護に努められています。

町家の大工であった山口さんが宮大工になったのは、昭和四十九年に美山町にある重要文化財「石田家住宅」の解体修理に携わったことがきっかけ。「近所の古民家で仕事をしていたときに、石田家住宅の解体修理も一緒にしてほしいと頼まれたことから文化財に興味を持つようになり、宮大工になりました」と山口さん。宮大工として最初に手がけた仕事の思い出を振り返りながら話されました。

長年、文化財の修復作業に携わった経験から、「何百年も経過した汚れや傷みがひどい状態の建造物を修復す

るため、基礎からやり直すことが多くありましたが、文化財としての価値を損なわないように材料を再利用していたので細心の注意を払ってきました。そのため、解体修理に五、六年の歳月を要したこともあり、関わった一つひとつの文化財に思い出があります」と山口さん。今後の抱負を聞くと、「文化財は後世に多くのものを伝えるとともに、関わってきた人たちの思いが込められています。文化財に出会ったことで賞をいただけたので、これからは恩返しをかねて京丹波町の文化財を大切に守っていききたい」と笑顔で話されました。

編集
後記

今回の特集は「桜」。春になると、彩り鮮やかに咲く桜が見られる場所が町内には数多くあります。今回は主な場所しか紹介できませんでしたが、京丹波町のことをもっとよく知るためにも、桜見物などで町内を散策してみてください。▶息子が誕生してから7か月が経ちますが、うれしそうに寝返りをする姿や離乳食をおいしそうに食べる姿、大きな声でしゃべる姿を見ると、成長の早さに驚かされるとともに、時間が経つのが早く感じます。父親として成長できているか、育児に関わっているかなど不安は多くありますが、これからも親子で過ごす時間を大切にしながら子育てに励みたいと思います。(K)